

1 ポイント（特に工夫した項目に○ いくつでも）



教材教具の工夫

1 実態に合っているか？	○
2 ねらいが明確か？	○
3 興味関心を生かしているか？	
4 シンプルで誰でも再現可能か？	○
5 一目で動作をイメージできるか？	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか？	○
7 実際の生活や他の場面で生かせるか？	

3 教材教具のねらい

- ・ラベルシールをずらさず、まっすぐに貼れるようにする。

4 改善の経緯

(1) 実習初日、教具を始めて使った時の生徒の様子

- ・シールを貼る位置は分かっても、まっすぐに貼ることが困難であった。



(2) 実習2日目、改良した教材を使用した時の生徒の様子

- ・赤い目印や矢印があることで、目印に合わせながらまっすぐにシールを貼ることができた。



作成者：吉田 理香

（ 高等部 ）

2 児童生徒の実態（個人）

- ・手元をよく見て作業に取り組むことは得意ではないため、シールを貼る位置がずれてしまう。



改善のポイント！！

- ・シールを貼る位置に緑のテープを貼り、矢印を入れることで、貼る位置を目立たせ、分かりやすくした。
- ・シールを貼るトマトの袋をセットする位置に赤いシールを貼り、セットする位置がより目立つようにした。

今後の改善や使用について

- ・目で見て一目で分かる教材を考案していきたい。

